

○北八ヶ岳産のショクダイゴケについて (西村直樹・井上 浩) Naoki NISHIMURA & Hiroshi INOUE: *Splachnum ampullaceum* Hedw. from Mts. Yatsu, Central Honshu, Japan

本種は動物の糞や小動物の死骸の上に生じるマルダイゴケ科の蘚類で、ヨーロッパ・コーカサス・北米およびシベリアなどから知られているが、比較的珍しい種と思われる。日本では根室の風蓮湿原、および納沙布から1960年に鈴木兵二博士が報告したのが最初である。野口彰博士(1974)が日本のマルダイゴケ科を取りまとめられた時には本種の日本からの記録のもとになった鈴木博士の標本が入手できず、外国産の資料をもとにした記載と図を發表された。これ以後、日本からは本種は確認されていなかったが、今回、長野県八ヶ岳連峰で発見したので、この資料をもとに簡単にノートしておきたい。

採集された場所は、北八ヶ岳の渋ノ湯と黒ユリ平間のコメツガ・シラベ林(標高約2300 m)で、湿った腐植土壌上であったが、後に標本を検討したところ、白骨や羽片の塊がみられ、小鳥の死骸の上に生育したものと推測される。また本種とともに、*Pogonatum contortum*, *P. japonicum*, *Bartramiopsis lescurii*, *Ditrichum heteromallum*,

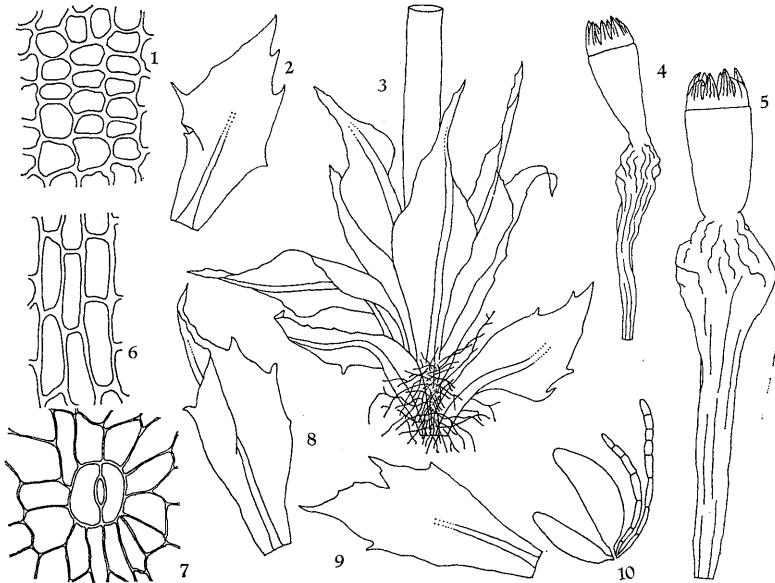


Fig. 1. *Splachnum ampullaceum* Hedw. 1. Exothecial cells from upper part of urn. $\times 180$. 2, 8, 9. Leaves. $\times 12$. 3. Female plant. $\times 12$. 4, 5. Capsules when moist. $\times 12$. 6. Exothecial cells from lower part of urn. $\times 180$. 7. Stoma at apophysis. $\times 180$. 10. Antheridia and paraphyses. $\times 22$. All figs. drawn by N. Nishimura from Inoue 25162.

Pohlia sp. 等の蘚類と *Lophozia alpestris*, *Jamesoniella autumnalis*, *Jungermannia* sp. 等の苔類が少量混生していた。

本種は孢子体（特に頸部）の形態が特異であるために、古くより、その形態はよく検討されている。北ハヶ岳の標本では孢子体の柄ならびに蒴が生時はきれいな紫紅色で、野口博士（1974）がフィンランドの標本で “lilac-purple” としたのとはほぼ一致する。しかし、科学博物館所蔵のヨーロッパなどの標本では柄や蒴が黄褐色で、日本のものとは著しい対照となっている。Fleischer & Loeske (1918) は頸部はいくつかの気室に区切られているとしているが、今回の標本でも同様の構造が認められた。頸上部のふくらんだ部分には比較的多くの気孔がみられ、Lorch (1931) に図示されているような気孔が 2 つ並んだものも観察された。また、蒴壁の表皮細胞の形は一樣ではなく、下半部は、上半部とははっきり区別されて、縦長の細胞より成っている。雄苞葉内の側糸では下部の細胞は細長く、上部では短くなっていて、Lorch (1931) が *Splachnum vasculosum* の側糸で、また Noguchi (1974) が *Tetraplodon angustatus* で図示したものと同様であった。

本種の和名は鈴木博士が「ショクダイゴケ」と命名されたが、その後、岩月博士（1972）は「オオツボゴケ」と命名した。和名はいずれを取ってもよいが、「ショクダイゴケ」という和名を破棄する積極的な理由がないので、この和名を使用するのがよいであろう。
(広島大学理学部、国立科学博物館)

Summary: The occurrence of *Splachnum ampullaceum* Hedw. in Japan was confirmed on Mts. Yatsu in Central Honshu. This species was once reported by H. Suzuki (1960) from Hokkaido. The new precise locality is: Between Shibunoyu and Kuroyuri-daira, Mt. Tengu in Mts. Yatsu, ca. 2300 m alt., on wet humus in *Tsuga diversifolia* and *Abies veitchii* forest, leg. H. Inoue no. 25162 (Sept. 2, 1980), in TNS.

引用文献: Lorch, W. (1931): Anatomie der Laubmoose. 359 pp. Berlin. Fleischer, M. & L. Loeske (1918): Iconographia Bryologica Universalis. 40 pls. Berlin. Noguchi, A. (1974): Musci Japonici, XI. Journ. Hattori Bot. Lab. 38: 387-404. Suzuki, H. (1960): *Splachnum ampullaceum* Hedw. found in Hokkaido, Japan. Hikobia 2: 31. 岩月善之助 (1972): 蘚綱. 岩月・水谷: 原色日本蘚苔類図鑑, 29-265. 保育社, 大阪.